



組合員の購読料は
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 石上浩一
編集責任者 常盤達雄

No. 1696 定価
15円

2008年

3月5日

〇八春闘標語

入選
正社員・非正規社員 手を継ぎ(つなぎ)
賃上げ勝ち取る〇八春闘!
大宮工場支部・車両一科分会 多並 正
やる気と根気が未来を決める 組織拡大 声かけ運動!
大宮工場支部・車両二科分会 小勝 信男

組織を強化・拡大し 労働条件を改善しよう

第九七回拡大地方委員会

第九七回拡大地方委員会が二月九日、新橋交通ビルで開催された。

山本副委員長の司会、成立宣言に続き、議長に大宮地区本部・青木委員、副議長に神奈川地区本部・高橋委員を選出し議事を一任した。石上委員長の挨拶、東日本本部・伊藤委員長、国労弁護団・福田護弁護士、交通共済東日本事業本部・宮坂本部長の来賓挨拶を受けた。鎌田財政部長より三六協定の締結承認の提案があり拍手で承認された。松川書記長から経過報告並びに運動方針の提起があり、昼食休憩中の〇八春闘標語の表彰式を挟んで、東京闘争団・原田事務局長の特別報告ほか、一七名の委員から方針を補強する発言を受けた後、宮崎組織部長・稲荷法対部長の答弁、書記長集約が行われ全体の拍手で承認された。議長・副議長の解任挨拶の後、委員会宣言が中澤政治部長から読み上げられ承認され、当面する闘う方針が確立した。



各委員からの発言

東 功二郎 (上野支部・松戸駅)

九月の常磐線輸送障害。二時半に北松戸駅で人身事故と藤代で車両故障。情報が入らず、各駅が大混乱。最終電車が行ったと判断し、シャッターを閉めて消灯した駅に電車が到着した。それでも会社は「必要な人員は確保している」と言う。

新入社員は配属日に昼食会に連れて行かれ、東労組に入れられていたが、会議室での説明ができるようになった。昨年は加入用紙

も渡した。

片嶋 英男 (大宮支部・大宮車掌区)

二月に主任・指導職一名ずつ発令。小集団などもやって、職場の中心は国労だと見せつけ、主導権を握りたい。

地区本部では運輸車両協議会を発足させた。運転士・車掌・検修・工場が入るが、要求はそれぞれ異なる。分科の違い、意見の違いを交流。まとまって交渉もできるようにしたい。

鮎瀬 達男 (新橋支部・池袋車掌区)

池袋・大崎運輸区設立が予定。国労を外して池袋運輸区準備委員会を立ち上げ。三月ダイヤ改正で二二行路を品川に移管。

二〇九事件の一括和解が成立し、変化を確認できるという声、従来と変化しないとの声もあるが、労務管理・人事運用は公正・公平であるべきという考え方に変わりはない。会社は、倫理・コンプライアンスに努める事が、社員や社会からも高い信頼が得られ、結果として、安定した一流企業への道に向かう最善の策だ。

職場実態を再度検証し、他労組合員・社会からも共感される労働組合となるために、会社に改善を求め、自信と展望を持って奮闘したい。

一括和解以降二二名が国労に復帰・加入。若い仲間、新規採用者の加入、運転職場でも加入した。組織強化・拡大を最重要課題と位置づけ、何でも話せる国労、親身



共感される組合づくりを 執行委員長 石上 浩一

執行委員長 石上 浩一

地方議会で、人道的見地からも早期解決を図るべきとの決議もいただいた。一月二三日の全動労判決も、「不法行為」を認め、鉄建公団訴訟の判決とあわせ国鉄の不当労働行為の存在と責任を認めた。三月一三日

予想される衆議院解散総選挙に勝利するため、憲法改正反対・反戦・平和、民主主義擁護、格差是正・生活と権利の確立、不採用事件の解決などの前進を期した、政党・候補者の全員当選に向け、奮闘する。

異動の希望者を募集しているが、予定に足りず応募を促す面談まで行っている。分会は本人希望尊重の申し入れを行っている。

小池 浩樹 (新橋支部・十条駅)

不採用問題は、当事者が納得する結果を得るため、全組合員が取り組まなければならない。支部は総行動を計画。練馬・豊島区で決議採択に向けた取り組みをする。

欠員で、休日出勤も多い。超勤が月に四五時間以上の人も。勤務変更で助役が一般社員の勤務に入ることすらある。そんな状況でもサービス・CS・説明会などに参加しろと言われる。要員を勝ち取る闘いを。

保住 昭裕 (大船支部・鎌倉車両セ)

不採用問題では建交労と合同の集会を取り組んだ。それを一一・三〇集会に繋げた。神奈川県内でも自治体決議が続いているが、藤沢・横須賀両市の市議会の三月議会決議へ取り組んでいる。

現場長に公平公正な取り組みを要請している。昨年と同じ取り組みをしていてはダメ。いま一歩踏み出した取り組みを。

に対応してくれる国労組織を築き、明るく働きやすい、誇りを持って働ける職場を創ろうと呼びかけ、粘り強く組織拡大運動を作り上げていく。

不採用事件の早期解決にむけ、一一月三〇日全国集会の成功を勝ち取った。七五一

には、鉄道運輸機構訴訟の判決がある。政府は今こそ、早期解決への決断をすべき。国労東京全体で支える体制を強く訴える。

鈴木 敏 (上野支部・尾久駅)

東労組は本場の事を言わずに加入させ、東労組に不満をもつ人も多い。しかし、ただ

林 信行 (上野支部・田端機関区)
〇七年度に六〇歳定年に百十六名がなり、再雇用・嘱託に応募も多いが二九名は辞めてしまう。〇九年度から希望者全員嘱託で採用される。六五歳まで働ける仕事を。組合費が他労組と比べて高い。仕事は続けなくても組合は辞める人が出ている。

高齡化と要員不足。新鶴見機関区では一六名の不足。ケガや病気で休んでいる人もいて、増員要請を会社に行っている。

長田 憲一 (甲府支部・甲府保線技術セ)

甲府と大月の分会長どうしで強制配転された。あの和解は何だったのか。終了点呼もなく、超勤もいがかげん。本当に必要な超勤をしているのか。助役も月に二〇時間は超勤をしていて、JRをくいものにしていく。

会社はYESマン作りをし、東労組でも言う事を聞かない人は差別されている。

国労をアピールしても加入には繋がらない。職場運動と一体でいかなければならない。国労紹介CDを作成し配布予定。

阿部 文夫 (大宮工場支部・車両二科)

技術が継承されない。技術的・人的に工事ができなければ、その部署丸ごと業務委託も検討される可能性がある。要員確保で現場長と話し合いをしている。責任ある検修体制の構築に取り組む。

昇進試験では、国労組合員が上位職に仕事を教えている状況を科長に説明している。国労で合格することに意義がある。

水内 正浩 (国府津支部・上溝駅)

相模線では駅長がいらない駅は全て神奈川企画に委託。営業時間の短縮もあり、収入が減少。不正客も多く、トラブルも多発。電車が遅れても情報が来ない。駅間で運転状況を連絡しあっているが、日勤の駅も多く、夜はその情報も入らない。一人で苦情の対応・払い戻し・窓口発売など何でも。

青木 孝一 (上野支部・東十条駅)

出退勤にタッチする端末がある事務室が、ダイヤの混乱など不在になると閉められてしまい、タッチできない。勤務作成も混乱。

書記長集約



組合員・組織が前を向き取り組んできた。拡大は、全ての闘いの延長線上にあり、国労にとって最重要の課題。一括和解以降、環境整備を図ってきた結果、数字に表れた。

人員不足が原因。要員センター設置の検討も。ジンジャーの検証も必要では。

委託化の問題では、地域の人が行政に、行政から本社に要請ということもあつた。地域・行政を利用する事を考えてはどうか。

田中 克幸 (新橋支部・新橋保線技セ)

下請け化の時に、東日本会社はP会社のプロパー社員に技術継承させ三年で完成させる、と言ったが、今も線閉責任者・保守用者の責任者がP会社で作られていない。

職場の仮眠室が少なく、大規模工事の時は、会議室に布団を敷いたり、ソファで寝ることもある。寝室の増築を要求したい。

後藤 征二 (新橋支部・中野電車区)

和解以降三回目の試験になる。二七年も二等級の人が、上位職に仕事を教えていることを追求し、合格した。皆で受けよう。

ライフサイクルでは実施に向け追加提案。四〇歳というのは生活の上でも節目になる頃で、この時期に職種が変更されるのはどうか。会社が社員の職種を簡単に変更できしてしまうことは問題では。

井草 茂典 (川崎支部・武蔵中原駅)

一月二日に建交労と共催で集会を行い、一・三〇集会の成功へ結びつけた。今が正念場。駅頭宣伝行動の取り組みが必要。

現場長が国労組合員も含めた忘年会や花見を設定した。何かあるのか分会で話し合

つたが、国労組合員が仕事でもレクでも主体的に行こうと参加を決定。GSの正社員採用申し入れを。一年間問題なければ正社員に。エルダー社員も六五歳定年へ。

大平 勉 (大井工場支部・車体科)

和解以降、試験に合格する人は増えたが三〇〇四〇年勤めて二等級の人もいる。昇進試験への取り組みの強化を。

安全問題では、同じ職場にJR社員と下請けの社員が混在。不安が増大。現場に何と言わず委託が実施されたりする。

婦人部委員会・青年部委員会開催される



婦人部委員会・青年部委員会が相次いで開かれた。婦人部委員会は二月二日に、青年部委員会は二月九日に地本会議室で開催された。

地域共闘では、品川共闘会議に参加。〇八春闘では大胆で多様な対応を。春闘時連続ピラ配布を実施。品川国鉄まつりで宮里先生から講演。

熊坂 誠司 (八王子支部・八王子保線技セ)

P会社の交通建設では、夜間作業は月一回と増えている。連続夜業は組ませない取り組み、ルール違反をやめさせてきたことも。国労の人を計画のテーブルにおいて、きつい勤務を断りづらくさせている。

本務職場は昔の本区にあたり、戻れば経験の無い仕事をする。担務を持たされ超勤

をせざるを得ないが、超勤を無くさなければ人員要求にならない。

地口 明世 (新橋支部・新宿駅)

ホームの出面は変わらないが八〇名から六八名に減少。出札で七八日、改札で七日、ホーム四七日の休日買い上げ。若い人でもクタクタ。病弱者は追い詰められ、軽減作業にしてほしくても「そんな勤務は無い」と助役に言われてしまう。個人に合った仕事の確保が必要。

契約社員は仕事の最前線にいる。契約社員の仕事のあり方も考えなくては。

二月二〇・二一日、第二八回国労東京スキー大会が湯沢パークスキー場を会場に開催された。

久しぶりに両日とも好天に恵まれ、絶好のコンディションのなか日頃鍛えた技を披露し、タイムを競い合った。大会開催中にスキー連盟役員について報告があり、会長に上野支部・上野駅分会の関口卓三さんが就任することとなった。

新しい会長の下、来年はより以上の参加者での大会

雪に恵まれスキー大会!



成功を願ってスキー大会を終了した。クラス別・競技別順位に

【総合順位】優勝 橋川康宏 神奈川・東神奈川電車区 準優勝 大越 進 八王子・三鷹保技セ 第三位 森田哲男 上野・上野新幹線第二運



今回も神奈川県立神奈川工業高校野球部と霧が丘高校野球部の協力を得て行われた。午後に入り、実践形式での練習に入っ

野球審判団技術講習会開催

夏に開催される国労東京第三六回野球大会に向けた野球審判団技術講習会が、二月二三日神奈川工業高校グラウンドで開催された。

予想される総選挙について、護憲・平和・民主主義擁護の立場に立った政党・候補者の勝利に向け取り組み。三月一日の全分会長会議で意思統一を図る。